

## 「特殊詐欺被害」まだまだ発生中！

全国における令和5年上半期の特殊詐欺被害は、認知件数で9,464件と昨年の同時期に比べ約1,900件も増加しており、特に「架空料金請求詐欺」は2,549件認知、増加件数1,366件と注意が必要です。今回は、最近起きた特殊詐欺の事例を紹介しますので、確認し被害に遭わないようにしましょう。

### 事例①：キャッシュカードをすり替え詐欺で盗難被害

8月1日10時頃、栃木県に住む80代女性の元に警察を名乗る男から電話があり「代理の者がキャッシュカードを取りに行くので暗証番号を教えてください」などと言われ、これを信じた女性が、訪問した警察官を装った男に封筒に入れたキャッシュカード8枚を、プラスチック片入りの封筒とすり替えられ、盗まれてしまった。

### 事例②：指示されるままにATMを操作し、約100万円をだまし取られる

8月7日、富山県に住む60代女性の元に市役所の職員を名乗る男などから「介護保険料を多く預かっているので返金します」「手続きをしてもらえれば2万7,400円返金されます」と電話が掛かってきた。その直後に金融機関サポートコールセンターの職員を名乗る男から電話があり「還付金の手続きのため、通帳とキャッシュカードを持って金融機関に行ってください」と指示されたため、金融機関を訪問し、教えられた番号に電話を掛けて指示されるままにATMを操作、指定された口座に約100万円を振り込んでしまった。



### 事例③：携帯電話への虚偽電話で約4,500万円をだまし取られる

6月19日から7月23日までの間に、60代女性の携帯電話へ「携帯電話からいろいろな企業のコンピュータにウイルスが拡散されて、多額の損失が出ている」などと、数回に渡り虚偽の内容の電話が掛かってきて調査費用や保証費用を請求された。信じた女性は現金を複数回宅配便で送るなどして、合わせて約4,500万円をだまし取られてしまった。

### 事例④：息子の慰謝料名義で現金50万円をだまし取られる

8月1日17時30分頃、新潟県に住む70代女性の元へ息子を名乗る男から「会社の女性と不倫をして子どもができた。女の旦那が激怒しており、慰謝料で100万円が必要になった。どれくらい用意できるか」と電話が掛かってきた。女性が「50万円なら用意できる」と返答したところ、「弁護士が行くから、お金を渡して」と言われたため指定された場所へ赴き、現れた弁護士を名乗る男に現金50万円を手渡してしまった。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511